

---

# 旅立

shinkstar

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
旅立

【Nコード】  
N2607T

【作者名】  
shinkstar

【あらすじ】  
なんか悲しい・・かな

たとえば北へ旅立てば  
大きな道が続いている。  
遠くに大きな町も見える。  
少し道のりは長いけれども、人通りは少ない。  
気が楽になって、安易に「北の道を選べばいい」と  
そう考えた。

足を踏み出したのはいいけれど、「あの町へ着いたら何をしよう」  
そう考えてみたら、何も思いつかない。

道行く人に尋ねても、返事もあまいで答えは返ってこない。

「ああ、そうか」

私と同じだ。

私と同じで、自分の答えを持っていない人が大半なんだ。

それならば「私もわかりません」と虚ろな顔で答えてほしい。

私は「そうなりたくない」と答えを出せる。

たとえば西へ旅立てば

大きな山が見える。

山のふもとには険しい森が見える。

距離は短いが、他に歩く人も見当たらない。

突拍子もなく、「あの山を越えてやろう」と

そう考えた。

足を踏み出したのはいいけれど、「あの山の向こうには何がある？」  
そう考えてみたら、足が止まる。

周りに誰もいないので、問いかけることもできない。

「ああ、そうか」

私も同じだ。

私も同じで、孤独な道のりが怖いんだ。それならば通行止めだと言ってほしい。私も否応なく足を止めることができる。

どちらの道を選んでも

私の答えは他人任せ。

ならばこのまま立ち止まっていよう。

止まっていれば何も起きない。何も変わらない。

唯、そこに存在しているだけ存在。

悲しみも、喜びも、怒りも、愛も、何もかも、ない。

「そんなのは嫌だな」

そう考えた。僕は幸せだった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2607t/>

---

旅立

2011年10月9日03時14分発行